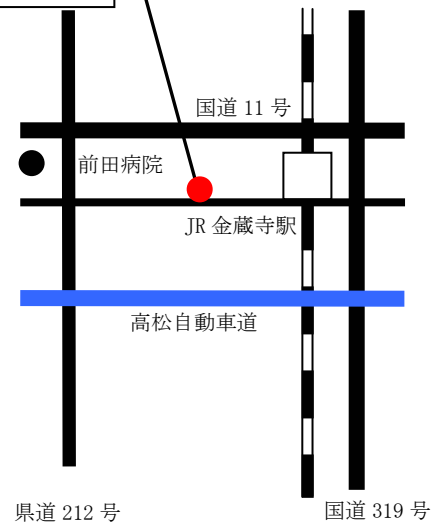


# 榎之木湧 (えのきゆう)

## 位置図



## 榎之木湧



善通寺市周辺には出水・湧すい ゆうと呼ばれる泉がたくさんあり、早魃かんばつのときにも枯れることなく地域の人々の生活を支えてきました。

そのひとつで、善通寺市の下吉田町にある「榎之木湧えのきゆう」は、出水の近くに「榎えのき」の大木があったことからこう呼ばれるようになったとも言われています。

この「榎之木湧」の清涼で豊富な湧水わきみずは、古くは地域住民の飲料水として利用され、現在では下流に広がる約 17町歩ちょうぶの水田を潤すと共に、水辺には多くの人が集まり世間話に花を咲かせたり、子供たちが水しぶきを上げるなど、地域の人々の憩いの場所となっています。

その昔、丸亀京極藩まるがめきょうごくはんのお殿様が休憩するために永榎亭えいかていと名づけられた「お茶屋」と呼ばれる休憩所があり、ところてんの名所であったとも言われています。

生活に根ざしたこの出水は、地域の人々によって大切に守られています。



榎之木湧



透き通った湧水